

a la carte.

2019.12

あらかると

395



福島県営あづま球場で
東京2020オリンピック競技大会が開催

福島県営あづま球場で東京2020オリンピック競技大会が開催

東京2020オリンピックでは史上最多の33競技・339種目が開催されます。その中で野球とソフトボール競技の会場になっているのが、福島市にある県営あづま球場です。1986年に完成したこの球場は、当時東北最大規模の野球場でした。プロ野球の公式戦や高校野球、社会人野球にも使用され、県民だけでなく幅広い野球ファンに愛されてきたあづま球場で来年オリンピックの試合が行われます。



▲改修工事前のグラウンド

あづま球場はこれまでも様々な改修工事をし、時代に対応してきましたが、昨年11月からオリンピックに向けて大幅な改修に着手し、今年9月に人工芝等を完備した新たな球場として生まれ変わりました。「アスリート・ファースト」の視点に立った施設で、障害者や高齢者も利用しやすいバリアフリーも導入しています。

雨が降ってもすぐ乾いて試合ができるようグラウンド全面を人工芝に改修。人工芝は西武ライオンズのメットライフドームやロッテのZOZOマリンスタジアムなどと同じ、排水性に優れた人

工芝が敷設されました。外野フェンスラバーの厚さも8センチから14センチになり、より安全にプレーできます。収容人数は30,000人(内野14,390人、外野15,610人)

今後はスコアボードとスタンドの観衆から見やすい大型ビジョンを増設し、エレベーターを新しく設置する予定です。たくさんの人が便利かつ快適に観戦できるように組織委員会と福島県の強力タッグで東京オリンピックのスタートにふさわしい会場づくりを進めています。



▲外野席芝生に階段状の観戦席を設けた



▲車椅子昇降台が設置されバリアフリー化。車椅子用観客席も1箇所(4席)から5箇所(20席)へ増設



▲球場内すべて洋式化されたトイレ

福島県営あづま球場で行われる試合

あづま球場での試合はソフトボール6試合、野球1試合の合計7試合を行います。3大会ぶりに正式種目になったソフトボールと野球ですが、ソフトボールの試合はオリンピックの開会式よりも早く行われ、野球もオープニングラウンドということで非常に注目度の高い試合です。当日はオープニングイベントも行う予定で、復興オリンピックとしても大きな期待がかかります。

ソフトボールの対戦方式

出場8カ国での全チーム総当りのリーグ戦を行い、その後上位4チームでのトーナメント戦で争われる。

あづま球場での日程

7月22日(水) 3試合
7月23日(木) 3試合

ソフトボール 過去3大会の結果

開催年	開催国	金	銀	銅
2008	北京	日本	アメリカ	オーストラリア
2004	アテネ	アメリカ	オーストラリア	日本
2000	シドニー	アメリカ	日本	オーストラリア

野球の対戦方式

出場6カ国が3チームずつの予選グループに振り分けられ、その後順位に応じてトーナメント戦を行う。

あづま球場での日程

7月29日(水) 1試合

野球 過去3大会の結果

開催年	開催国	金	銀	銅
2008	北京	韓国	キューバ	アメリカ
2004	アテネ	キューバ	オーストラリア	日本
2000	シドニー	アメリカ	キューバ	韓国

アクセス



東北自動車道福島西インターより車で約10分
福島駅西口より車で約20分
福島駅東口(佐原行7番乗り場)より路線バスで約30分

あづま総合運動公園

(指定管理者:公益財団法人福島県都市公園・緑化協会)
<http://www.azumapark.or.jp/>
〒960-2158 福島県福島市佐原字神事場1番地
TEL.024-593-1111